



収集資料の保存と活用

西原町立図書館町史編集係では、現在『西原町史』第一巻通史編の編集作業を進めています。編集を円滑に進めるために、町内外から古写真・辞令書など西原に関する資料を積極的に収集しています。そこで今回は、収集した資料をどのように保存・活用しているのかをご紹介します。

まず、貴重な資料（古写真など）を図書館で受け入れた場合、資料が破れていないか、カビやシミがっていないか、その状態を確認します。次に、資料の写真撮影・スキャンング（データ化）を行います。

資料を痛めないように封筒や筒箱に入れ、空調が整った

図書館内の収蔵庫や事務室で保存します。その際、

いつでも利用できるように、資料に

登録番号をつけ、

贈者名・資料の状態

などの詳しい情報を記録します。また、資料の内容について不明な点があれば、文献を調べたり、地域の方々に聞き取り調査なども行っています。

の作業で、資料が痛んでいる場合には、修復・クリーニングを行います。例えば、昨年9月1日に「毛姓家譜」の原本の寄贈がありました。この資料は虫食いやカビが付着していたため、裏打ち・脱酸処理を行い、長期保存が可能となりました。この家譜は現在、桐箱に納めて保存しています。

町立図書館では、このような貴重な資料を大切に保存すると同時に展示会や『町史』の編集に活かしています。また、町内の歴史や文化に関する問い合わせなどに対しても、収集資料を有効活用し、町民の生涯学習に努めています。



修復前



修復後